

報道関係者 各位

2024年8月20日  
一般社団法人 日本BPO協会  
専務理事 田畑 一雄  
電話：03-6721-5361  
URL：<https://www.bpo.or.jp>

## 2024年7月度 製造請負・派遣事業動向調査結果

一般社団法人 日本BPO協会は、製造請負・派遣業の事業主団体として、会員企業を対象に製造請負・派遣業に関する業況判断等について四半期ごとに定期調査を実施しております。

2011年4月に第1回を実施し、今回で54回目となります。

2024年7月度の調査結果を下記のとおり取りまとめました。

### 業況判断D Iはプラス8と前期比9ポイント上昇

～業況判断D Iは3期ぶりにプラス。人材需要の伸びは一部業種で鈍化。～

#### 【調査結果のポイント】

##### 1. 業況判断等

(1) 2024年7月度調査の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス8で、2024年4月度調査（マイナス1）を9ポイント上回っている。

先行き（3か月後）の業況判断D Iはプラス17となっている。

(2) 取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス23で、2024年4月度調査（プラス23）と同じ数値となっている。

先行き（3か月後）の取引先数判断D Iはプラス33となっている。

(3) 雇用人員判断について、スタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス87で、2024年4月度調査（プラス90）を3ポイント下回っている。

また、プロパ社員判断D Iはプラス33で、2024年4月度調査（プラス36）を3ポイント下回っている。

先行き（3か月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス91となっている。

#### ※用語の説明

【スタッフ社員】：製造業務等に直接従事する労働者

【プロパ社員】：製造業務等には直接従事しないで、営業部門や管理部門等、間接業務に従事する労働者

#### ※D I値について

本調査におけるD Iとは、各調査項目についての判断の状況を示す。例えば、業況判断D Iは、ゼロを基準として、プラスの値は業況の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値は業況の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

##### 2. 売上額・雇用人員

(1) 回答企業の2024年4～6月期売上額の対前年同期比増減率は2.7%増であった。

(2) 回答企業の2024年6月末現在の雇用人員数は161,772人であった。

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

四半期ごとに、会員企業の製造請負・派遣業に関する業況判断、売上げ動向、雇用人員等の事項について調査することにより、製造請負・派遣業の現状を明らかにし、事業運営に役立てるとともに、取引先はじめ関係の皆さまに業界の実情をご理解いただくことを目的とする（2011年4月から調査開始）。

### 2. 調査時期

この調査は、2024年6月30日現在の状況について、2024年7月9日から7月23日に実施した。

### 3. 調査の対象

当協会の正会員（89社）を対象とした。回答企業数66社、回答率74.2%。

### 4. 結果表 別紙

## 【結果の概要】

### 1. 業況判断等

#### (1) 業況判断

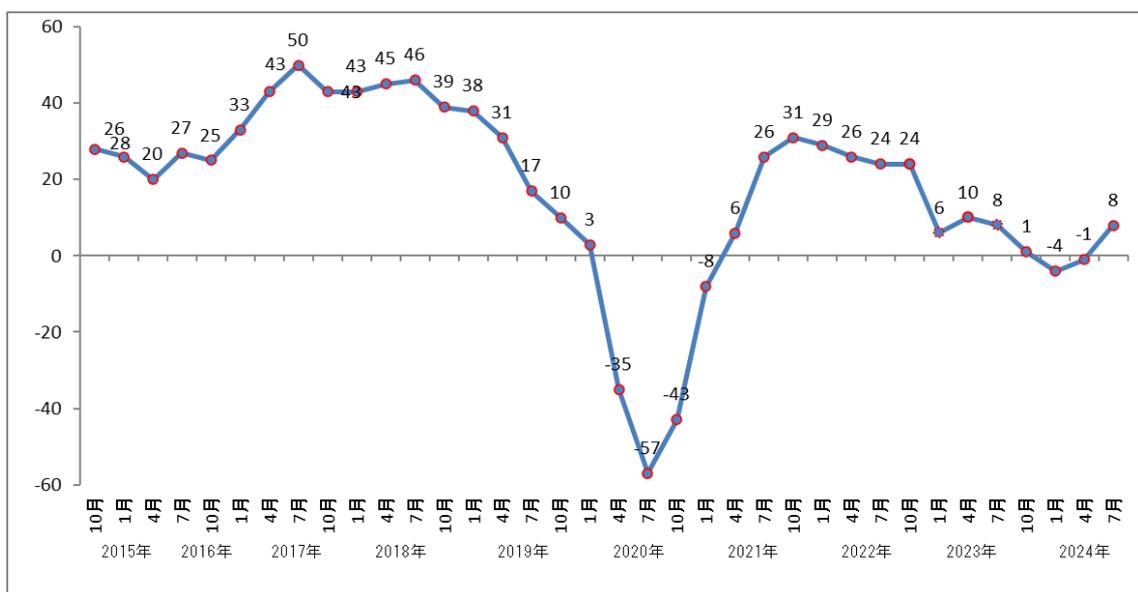
2024年7月の業況判断DI（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス8で、2024年4月度調査（マイナス1）を9ポイント上回った（図1）。業況判断DIは、3四半期連続ぶりにプラスとなった。

判断材料として、増産または横ばいの生産状況により堅調な業況の業種もあるが、人材確保は依然として困難な状況が続いている。一方で、一部業種における減産傾向を受けて、人材需要の伸びが鈍化している業種もある。

#### 【最近の業況】の判断例（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- 自動車業界において、6月に発生した一部取引先の認証不正問題で要員や稼働に影響が出ているが、一定数のオーダーは継続している。電子デバイス業界においては、半導体関連のメモリー・製造装置を中心に回復傾向が鮮明になりつつあり、電子機器関連も生産は回復基調にある。人材需要も全体的に増加傾向にある。
- 輸送用機械器具製造関係、半導体製造関係等について、増産の傾向にはなく、横這いが継続している。また、一部生産調整を行っている取引先について、小規模ではあるが同傾向で推移している。
- 令和6年能登半島地震や世界情勢、物価高騰、円安等による目立った影響はなく、派遣を中心に引き合いはあるが、人材確保難の状況は依然として厳しく需要に応えきれない状況は続いている。また、派遣社員等の定着面においても売り手市場であることから、転職を希望する派遣社員等も増加傾向にあり、派遣・請負スタッフ数が伸び悩み、業況はほぼ横ばいの状況が続いている。
- 派遣先における生産状況の停滞は現在も続いている。その中で、派遣社員の新規入社が落ちている反面、退職が増加の傾向にあり、全体としての在籍者数は現状維持の状態である。
- 派遣・請負分野での料金値上げによる売上増、および、新規取引先の開拓による売上増があった。
- 賃上げ機運に柔軟に対応してくれる取引先と、渋る取引先との温度差が大きい。

(図1) 製造請負・派遣業況判断D Iの推移



先行き（3ヵ月後）の業況判断D Iはプラス17であり、最近の業況判断（プラス8）を9ポイント上回っている。

判断材料として、生産の回復が見込まれる業種では人材需要が増加している。先行きの不透明感が強く、生産が横ばいまたは減産と予測される業種もある。採用難も継続する見込み。

**【先行きの業況】の判断例**（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・自動車業界は認証不正に伴う生産停止の影響がどこまで続くか現時点では不明。生産回復を見越して、一定数の人材需要が発生すると予想する。電子デバイス業界は半導体・電子機器関連ともに今後も回復基調を維持し、人材需要も継続的に発生すると予想する。
- ・全体としてはやや上向き若しくは、横ばいとなる見通し。自動車輸送関連はメーカーにより傾向が異なるものの、全体としては横ばい傾向となる見通し。半導体関連は底打ちから反転の兆しが見えたものの、電機半導体関連全体としては、横ばい傾向となる見通し。
- ・本年10月以降、増産が見込まれる取引先があるが、緩やかな傾向ではないかと思われる。
- ・自動車及び半導体における人材需要はあるものの、労働力の確保が厳しい状況が続いている。
- ・人材確保難、人材の定着の問題についても、この先も大きく改善される見通しが無いため、業況の先行きはまだまだ厳しい状況の見込みである。
- ・人材募集が激戦となっており、労務費の高騰や採用に苦戦している。

**(2) 取引先数判断**

2024年7月の取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス23で、2024年4度調査（プラス23）と同じ数値となった。

先行き（3ヵ月後）の取引先数判断D Iは、プラス33となっている。

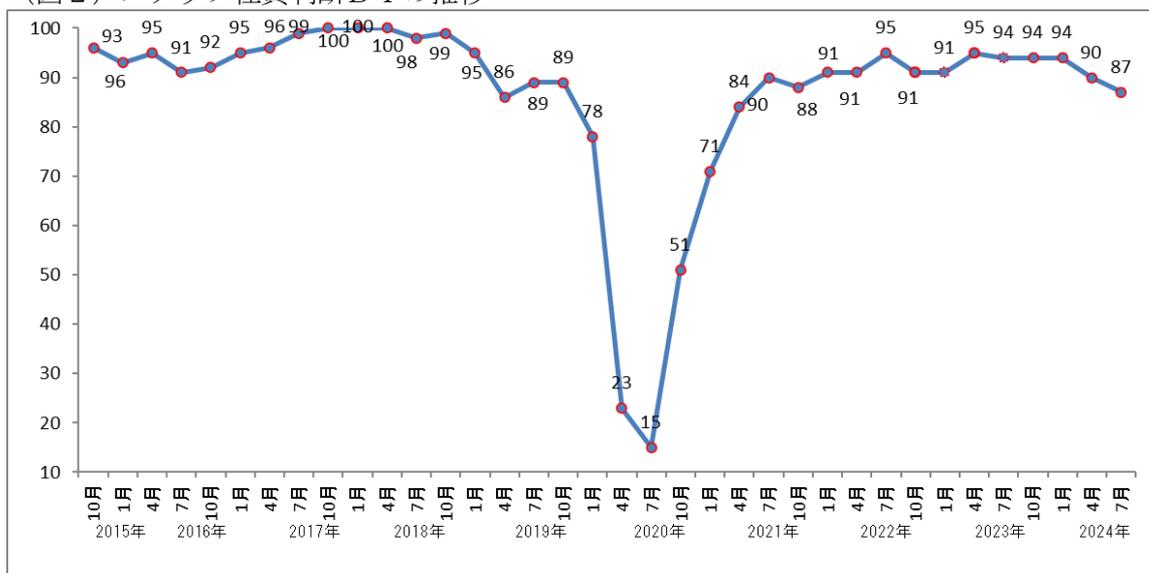
**(3) 雇用人員判断**

**① スタッフ社員**

2024年7月のスタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス87で、2024年4月度調査（プラス90）を3ポイント下回った（図2）。スタッフ社員判断D Iは、11四半期ぶりにプラス90を下回った。

先行き（3ヵ月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス91となっている。

(図2) スタッフ社員判断D Iの推移



## ② プロパ社員

2024年7月のプロパ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス33で、2024年4月度調査（プラス36）を3ポイント下回った。

先行き（3か月後）のプロパ社員判断D Iはプラス39となっている。

## 2. 売上額・雇用人員

### (1) 売上額

回答企業66社の2024年4～6月期売上額の対前年同期比増減率は2.7%増であった。

回答企業の規模別で見ると、A群（売上高10億円以上）が3.0%増、B群（売上高10億円未満）が1.8%減となっている。

会員企業の売上額の対前年同期比増減率の分布をみると、0～9%増が40.9%で最多となっており、次いで、0～9%減が28.8%、10～19%増および10～19%減が9.1%となっている。増減率がプラスとなった企業割合は、57.6%であった。

### (2) 雇用人員

回答企業66社の2024年6月末現在の雇用人員数は161,772人であった。

内訳を見ると、スタッフ社員が152,276人で、雇用人員全体の94.1%を占めている。スタッフ社員の内訳は、労働者派遣により就業する社員が125,257人（スタッフ社員全体の82.3%）、請負等の現場に就業する社員が27,019人（同17.7%）となっている。

プロパ社員は9,496人、全雇用者のうち外国人労働者は20,090人となっている。

以上

(別紙)

製造請負・派遣事業動向調査 結果表－2024年7月度調査

一般社団法人日本BPO協会

1. 判断項目

(1) 業況判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年4月調査		2024年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 29 (29)	良い	7	7	14	7	17	3
	さほど良くない	79	93	79	0	79	0
	悪い	14	0	7	-7	3	-4
	業況判断DI	-7	7	7	14	14	7
B群 37 (37)	良い	14	24	19	5	27	8
	さほど良くない	76	65	70	-6	65	-5
	悪い	11	11	11	0	8	-3
	業況判断DI	3	13	8	5	19	11
合計 66 (66)	良い	11	17	17	6	23	6
	さほど良くない	77	77	74	-3	71	-3
	悪い	12	6	9	-3	6	-3
	業況判断DI	-1	11	8	9	17	9

- (注) 1. 「良い」、「さほど良くない」及び「悪い」の各数値は、回答社数に占めるそれぞれの回答割合(%)を示す。  
2. 「業況判断DI」は、「良い」(回答社数構成比)－「悪い」(回答社数構成比)。  
(以下、取引先数判断及び雇用人員判断についても同様。)  
3. 「最近」は回答時点を、「先行き」は3ヵ月後を示す。  
4. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。  
5. 規模区分は2024年1～3月期の売上げ額が10億円以上の企業をA群、10億円未満の企業をB群とした。  
6. 社数欄は2024年7月調査の回答企業数、カッコ内の数値は2024年4月調査の回答企業数を表す。  
7. 全ての回答割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にならない。

(2) 取引先数判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年4月調査		2024年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 29 (29)	増加	34	38	28	-6	41	13
	ほぼ同じ	62	59	69	7	52	-17
	減少	3	3	3	0	7	4
	取引先数判断DI	31	35	25	-6	34	9
B群 37 (37)	増加	24	38	30	6	38	8
	ほぼ同じ	68	59	62	-6	57	-5
	減少	8	3	8	0	5	-3
	取引先数判断DI	16	35	22	6	33	11
合計 66 (66)	増加	29	38	29	0	39	10
	ほぼ同じ	65	59	65	0	55	-10
	減少	6	3	6	0	6	0
	取引先数判断DI	23	35	23	0	33	10

(3) 雇用人員判断

1) スタッフ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年4月調査		2024年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 29 (29)	不足	90	90	90	0	90	0
	適正	7	10	7	0	10	3
	過剰	3	0	3	0	0	-3
	スタッフ社員判断DI	87	90	87	0	90	3
B群 37 (37)	不足	95	100	89	-6	92	3
	適正	5	0	11	6	8	-3
	過剰	0	0	0	0	0	0
	スタッフ社員判断DI	95	100	89	-6	92	3
合計 66 (66)	不足	92	95	89	-3	91	2
	適正	6	5	9	3	9	0
	過剰	2	0	2	0	0	-2
	スタッフ社員判断DI	90	95	87	-3	91	4

## 2)プロパ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年4月調査		2024年7月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
A群 29 (29)	不足	62	59	55	-7	59	4
	適正	38	41	41	3	38	-3
	過剰	0	0	3	3	3	0
	プロパ社員判断DI	62	59	52	-10	56	4
B群 37 (37)	不足	27	32	30	3	32	2
	適正	62	62	59	-3	62	3
	過剰	11	5	11	0	5	-6
	プロパ社員判断DI	16	27	19	3	27	8
合計 66 (66)	不足	42	44	41	-1	44	3
	適正	52	53	52	0	52	0
	過剰	6	3	8	2	5	-3
	プロパ社員判断DI	36	41	33	-3	39	6

## 2. 四半期項目

## (1)2024年4~6月期の売上額に関する対前年同期比増減率

規模区分		A群	B群	合計
企業数		29	37	66
対前年同期比増減率		3.0%	-1.8%	2.7%
（増 減 成 率 比 分 布）	20%~	3.4%	10.8%	7.6%
	10%~19%	3.4%	13.5%	9.1%
	0%~9%	62.1%	24.3%	40.9%
	▲0%~▲9%	27.6%	29.7%	28.8%
	▲10%~▲19%	3.4%	13.5%	9.1%
	▲20%~	0.0%	8.1%	4.5%

## (2)雇用人員

2024年6月30日現在

労働者の属性	A群		B群		合計	
	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)
スタッフ社員数	140,843	94.4% (100%)	11,433	91.4% (100%)	152,276	94.1% (100%)
労働者派遣により 就業する社員数	115,777	77.6% (82.2%)	9,480	75.8% (82.9%)	125,257	77.4% (82.3%)
請負等の現場に 就業する社員数	25,066	16.8% (17.8%)	1,953	15.6% (17.1%)	27,019	16.7% (17.7%)
プロパ社員数	8,415	5.6%	1,081	8.6%	9,496	5.9%
総労働者数	149,258	100.0%	12,514	100.0%	161,772	100.0%
うち、外国人労働者数	18,138	12.2%	1,952	15.6%	20,090	12.4%

(注) 構成比のうち()内は、スタッフ社員数に占める労働者派遣により就業する社員数及び請負等の現場に就業する社員数の割合を表す。

以上